と～ぶだより

2024年10月号　No. 212

東部図書館キャラクター

フックボン

１０月２７日から１１月９日は「読書週間」です。

１０月の行事案内

展示「魅せる書き出し」

と　き：１０月１６日（水）～１１月１８日（月）
ところ：東部図書館　１階　フロア
内　容：書き出しに特徴がある本を、古典文学・近代文学・現代文学・世界文学・児童文学の５つのジャンルに分けて紹介します。
あわせて、書き出しが書かれた栞（１００枚限定）とともに、関連本の貸出しを行います。

朗読会

「名作の書き出しを読む」

と　き：１０月２９日（火）
１３：３０～１５：００
ところ：東部図書館　２階　集会室
内　容：「源氏物語」、「吾輩は猫である」などの書き出し部分の朗読と作品の解説を行います。
講　師：藤井　康治さん
申　込：１０月１２日（土）１０：００～

本を楽しむ会

と　き：１０月８日（火）
１０：３０～１２：００
ところ：東部図書館　２階　集会室
読　本：『珍品堂主人』井伏　鱒二／著

あかちゃんといっしょのおはなし会

と　き：１０月１１日（金）・１８日（金）
１１：００～１１：２０
ところ：東部図書館　２階　集会室
内　容：えほんの読み聞かせ
手あそびなど
対　象：あかちゃん（０～３才）とその保護者

サロンコンサート

と　き：１０月２２日（火）
１４：００～１４：３０
ところ：東部市民センター　１階　サロン
出　演：杉原津弥子＆福山ギターアンサンブル
内　容：クラシックギターの演奏

福山市東部図書館　〒721-0915　福山市伊勢丘六丁目６番１号　TEL（084）940-2575

開館時間／（平日）午前１０時～午後７時　（土・日・祝）午前１０時～午後６時
休館日／毎月第３火曜日　貸出冊数／一人１０冊（視聴覚資料５点含む）　貸出期間／２週間

ホームページから本の検索・予約ができます

図書館ホームページ
https://www.tosho.city.fukuyama.hiroshima.jp

QRコード

来年度から
運行を開始！

小さくてかわいい移動図書館車が登場！

愛称募集　あたらしい移動図書館車に、ステキな名前をつけよう！

≪応募期間≫　２０２４年１０月２日（水）～１０月２７日（日）**＜必着＞**

≪応募資格≫　どなたでも

≪募集内容≫　●来年度から運行を開始する移動図書館車（軽自動車）の
ひらがな４文字以内の愛称（〇〇〇〇号）　※採用作品は車体へ表記します。
●その愛称がふさわしいと思う理由（１００文字程度）

≪応募方法≫　応募用紙に必要事項を記入のうえ、市内各図書館に持参
または福山市ＨＰ申込フォームなどで応募（一人につき１点）
※応募用紙は福山市図書館ＨＰからもダウンロードできます。

≪問合せ先≫　福山市中央図書館　愛称募集担当　電話（０８４）９３２－７２２２

新しく入った本の紹介

【おとな向け】

書　名	著　者	出　版　社	請求記号
子どもを否定しない習慣	林　健太郎	フォレスト出版	379.9 ハ
小さな印刷屋さん宇田川新聞の木版画教室	宇田川　新聞	グラフィック社	733 ウ
生きのびるヒント	鴻上　尚史	論創社	914.6 コ
あのころの僕は	小池　水音	集英社	F コイ
料理からたどるアガサ・クリスティー	カレン・ピアース	原書房	930.2 ク

読書週間 2024 10・27～11・9

フックボンのおすすめ本

『92歳、毎日楽しく老いてます』

樋口　恵子／著　　電波社 【367.7 ヒ】

趣味は老後の生活を豊かにし、賑やかに生きるきっかけになります。また、若い時期から経済的に自立をすることが老後を支える重要な柱になります。

92歳の著者が実体験をもとに高齢社会をよりよく生きるためのヒントを教えてくれます。

『その朝は、あっさりと』

谷川　直子／著　　朝日新聞出版 【F タニ】

介護疲れで倒れた母の代わりに、素子は寝たきり同然の父の介護をすることになりました。

中学の教師だった父は、校長や教育委員長を務め、多くの教え子から慕われていました。その父の机の上に小林一茶の句集が置かれています。句集には丸印や書き込みがしてありました。

『パインさんの　ごちゃまぜかんばん』

子ども

レオナード・ケスラー／さく
小宮　由／やく　　大日本図書 【933 ケ】

リトル・タウンのかんばんは、すべてパインさんがつくりました。

かんばんが古くなったので、つくりかえることになりました。ところが、パインさんはめがねをなくしてしまいます。よく見えないままとりつけたかんばんは、すっかりごちゃまぜで、町はたいへんなことになってしまいました。

『千駄木ねこ茶房の文豪ごはん』

中高生

山本　風碧／著
KADOKAWA 【Y913 ヤ 1】

休職中の亜紀は喫茶を営む祖母が倒れたと連絡を受けました。店を訪れると、亜紀は夏目漱石の生まれ変わりだという喋る猫・猫先生と謎のイケメン・寒月に出会います。猫先生から「食事を作ってくれ」と急かされ、おしるこを作りました。

亜紀は二人に背中を押され祖母の店を継ぐという小さい頃の夢に挑戦することにします。